

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 4月 26日

事業所名 きららSTEM津之江町

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|------------------|------------------------------------|--|----|---------------|-----|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 7 | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 7 | | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 2 | 3 | 2 | 施設が2階で階段があるため、職員が安全面に気をつけ、見守り等の対応を行っています |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 6 | 1 | | 月に1回会議を行い、より全職員で目標・振り返り・今後の予定を共有できるようにしていきます |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 6 | | | アンケートの結果を共有し、職員で討議し、改善案を考えていきます |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 7 | | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 6 | 2 | | 今後も法人内の別事業所に評価を受け、療育や運営の改善につなげていきます |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 7 | | | |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 7 | | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 6 | 1 | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 7 | | | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 7 | | | 毎週プログラムの週案を立ててより、様々な経験(簡単なルールのある活動・制作・絵本お話等)ができるようにしていきます |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 7 | | | 季節に合わせた年中行事や、壁面制作を行っています 長期休暇は期間を決めて療育時間の変更を行いました |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 7 | | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 7 | | | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している | 7 | | | 当日出勤した職員で支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有できるようにしています |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 7 | | | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 7 | | | |
| 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている | 7 | | | | |

| | | | | | | |
|--------------|---|---|---|---|--|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 6 | 1 | | 今後もサービス担当者会議には、子どもの様子を熟知している職員が参加していきます |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 7 | | 0 | 学校との情報交換を行い、より療育に反映できるようにしていきます。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 6 | 1 | | 受け入れ時は保護者と十分な連携を取りながら、アセスメントを踏まえた上で必要な支援をしていきます |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 6 | 1 | | 保護者を介して情報交換を行い、必要に応じて各所と連携し情報共有していきます |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 5 | 2 | | 現在該当する利用者はいませんが、随時、情報を提供していきます |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 6 | | 1 | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 2 | 4 | 1 | 今年度は機会がありませんでしたが、夏まつり等で地域の子どもたちとの交流等を検討していきます |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 4 | 2 | 1 | 積極的に参加していこうと考えています |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 7 | | | |
| 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 6 | | 1 | よりわかりやすい形で傾聴や承認の言葉がけ等の仕方を面談等で保護者に伝えていきます | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 7 | | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 7 | | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 4 | 3 | | 夏祭りは保護者の方や御兄弟に参加して頂きました。今後はより保護者同士が交流できる機会を提供できるよう検討していきます |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 7 | | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 7 | | | |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 7 | | | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 7 | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている | 4 | 2 | 1 | |

| | | | | | |
|---------|----|--|---|--|---|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 7 | | おたよりに載せるなど、保護者の皆さんにより周知できるようにしていきます。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 7 | | 今後も年3回の訓練や研修を行い、備えていきます |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 7 | | マニュアル作成し、チェックリストを職員間で共有し、日頃から虐待への意識を高めるようにしていきます。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 7 | | 保護者の了解を得て、個別支援計画に記載しています |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 7 | | コロナ禍でしたのでおやつ提供はありませんでした |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 7 | | 今後もヒヤリハット事例を事業所内で共有し、改善点を話し合っていきます |